
蒼き疾風と紅き火焰は共に

蒼龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蒼き疾風と紅き火焰は共に

【Nコード】

N4736M

【作者名】

蒼龍

【あらすじ】

.....これは、異世界へといざなわれた、一人の少年の物語.....

ある理由で異世界に入り込んだ少年の冒険記です。

そして、初投稿です。

まだ未熟なので、遠慮なくコメントして下さい。

読んでる途中で見捨てないで下さい。

お願いします。

多分更新遅いです。

第1話 く事の起りく（前書き）

初めましてー。蒼龍といいまーす。

自信ないですけど、下手かも知れないけれど、見放さないで、最後まで見ていつて下さい。

言いたいことはどんどんコメントして下さい。よろしく願いまーす。

第1話　〜事の起り〜

「あー、めんどくせーなあ」

ある交差点、一人の少年がそうつぶやく。

この少年、名を蒼風あおかぜという。

親のお使いで、買い物にゆくところだ。

ちなみにこいつ、運動の天才である。

学校どころか、市内にまでその才能に匹敵するものはいない、とまで言われている。

『ま、そー言うなよ』

ついでに言えば、二重人格だ。

『かーさんだつて大変なんだよー、少しは気をつかえ・・・』

内部の人格は双子の弟の紅焰くえんという。

この弟、三年前に事故で死んでいる。

幼児を助け、身代わりとなり死んだのだ。

が、成仏できずにいる時に蒼風に取り付き、

そのまま同化してしまったため、

離れられずに居候として留まっている。

で、こいつは勉強の天才。

一を聞いて十を知る、を体現したような奴だ。

この二人、瓜二つの容姿をしている。

学校の先生はもちろん、クラスメイト達、

親ですら、紅焰の生前は二人をよく間違っていた。

だが、一つだけ二人には違う点があった。

目の色である。

蒼風は蒼^{あお}みがかかった色を、

紅^{あか}焔は紅みがかかった色をしているのである。

その影響か、紅焔が表に出ている時は蒼風の日も紅くなる。

「うつせーなあ」

『まーた、なまいきを』

などなど二人がしゃべっていると、

なんと、向かいの歩道から赤信号なのに

幼児がぼてぼてと車道に歩いて来るでは無いか。

「!!! あんの幼児^{ガキ}イイ!!!」

蒼風が止めようと車道に飛び出そうとする。

『おいっ、馬鹿！俺の二の舞いだぞっ!!!』

と、紅焔が引き止める。

「うつせえ!!!」

『お前がいなくなったら、残ったかーさんとーさんがどんな思いするっ!!!』

「っ!!!」

等のかんかんがくくな言い合いをしていると、

トラックがやって来た。

無論、幼児直撃コース。撥ねられたら即死のスピード。

「もう、議論の暇なんざねえっ!!!」

蒼風は、走り出す。

第1話 く事の起りく（後書き）

どうでしたか？

楽しめていただけただけでしょうか。

そうでしたら幸いです。

辛口でもいいんで、コメント下さい。

ダメ出しも甘んじて受けます。

それでは、さようならー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4736m/>

蒼き疾風と紅き火焰は共に

2011年10月7日01時15分発行